

## 石川県警に「反射材利用促進チラシ」を寄贈

～金沢駅前で街頭啓発活動を実施～

日本損害保険協会北陸支部委員会（委員長：高口 格・東京海上日動火災保険株式会社金沢支店長）では、石川県警と連携した「反射材利用促進チラシ」を作成し、チラシ25,000部と反射材タックルバンド300個を県警に寄贈しました。

当支部では、令和2年12月に石川県警と「交通事故防止対策に関する協定」を締結し、例年、交通安全に係るポスター・チラシ等の協力を行ってきています。今年度は、1件でも多くの交通事故を減らすことを願い、反射材の利用を促すチラシ（裏面はチャイルドシートの使用促進）を作成することにいたしました。

2月12日（水）には、金沢駅前で街頭啓発活動を行い、県民や観光客にチラシと反射材を配布しました。チラシと反射材タックルバンドを受け取った県民からは、「普段意識したことがなかったが、もらった反射材を使ってみたい」との話があり、その場でカバンに巻かれている方も多数いらっしゃいました。

当支部では、引き続き、県警や関係機関とも連携のうえ、交通事故の減少を目指し、啓発活動を行ってまいります。



寄贈したチラシ



金沢駅前での街頭啓発活動

\* 下記 URL からチラシ（PDF）をダウンロードいただけます。

[https://www.sonpo.or.jp/news/branch/hokuriku/2024/2502\\_chirashi.pdf](https://www.sonpo.or.jp/news/branch/hokuriku/2024/2502_chirashi.pdf)